[セグメント間売上消去後]

【セクメント間元上冶去後】							
	2019年3月期		2020年3月期				
	通 期		通 期				
		i			ı		
		実 績	構成比		実 績	構成比	前期比
	億円		億円				
売 上 高 合 計		4,635	100%		4,420	100%	△5%
<海外売上高合計>		<3,294>	71%		<3,098>	70%	△6%
営業利益(%)	(14%)	647		(12%)	550		△15%
電力関連事業		498	11%		433	10%	Δ13%
営業利益(%)	(-)	△85		(-)	△49		-
セラミックス 事 業		2,514	54%		2,518	57%	+0%
営業利益(%)	(22%)	559		(21%)	535		△4%
エレクトロニクス事業		588	13%		554	13%	△6%
営業利益(%)	(-)	Δ3		(0%)	0		_
プロセステクノロジー事業		1,034	22%		915	21%	Δ12%
営業利益(%)	(17%)	176		(7%)	64		△63%

		(売上高比)		(売上高比)	前期比
経常利益	644	(14%)	520	(12%)	△19%
親会社株主に帰属する 当期純利益	355	(8%)	271	(6%)	△24%
ROE	7.6%		5.8%		
1 株 利 益	110.35円		84.73円		
配当金(配当性向)	50円 (45.3%)		50円 (59.0%)		

ſ	設 備 投 資	1,053	(23%)	940	(21%)	Δ11%
	減価償却費	357	(8%)	396	(9%)	+11%
	研究開発費	233	(5%)	228	(5%)	△2%

為	替	レート(円/USD)	
	_		

2020 年 3 月 期 決 算 発 表 補 足 資 料

2020年3月期 実績 ••• 前期比 減収・減益

①事業別業績概況(売上高・営業利益)

【電力関連】・・・・・減収・赤字縮小

- ・がいし 国内需要は低調。海外は拠点閉鎖に伴い出荷が減少も、費用減により赤字は縮小。
- ·NAS 国内外共に大口案件の出荷はなく赤字。

【セラミックス】・・・・・微増収・減益

・自動車関連 排ガス規制強化に伴い、GPF(ガソリン・パティキュレート・フィルター)の物量は増加したものの、 自動車の生産・販売台数の減少や為替円高の影響により、売上高は前期並み。 利益は減価償却費の増加等から減益。

【エレクトロニクス】・・・・・減収・微増益

- ・電子部品 セラミックパッケージの需要減少や双信電機の低調により減収。利益は固定資産減損 による減価償却費の減少から赤字縮小。
- ・金属 車載・家電向け等の需要が減少し、減収・減益。

【プロセステクノロジー】・・・・・減収・減益

- ・半導体製造装置用製品 半導体メーカーの設備投資抑制に伴う需要の落ち込みにより、減収・減益。
- ・産業プロセス 加熱装置の需要が減少し減収・減益。

②為替影響

·前期比 売上高 △68億円、営業利益 △16億円

△ 1億円、営業利益 △ 0億円 うち電力 売上高 セラミックス " △57億円、 " △12億円 エレクトロニクス 11 △ 3億円、 " △ 1億円 プロセステクノロジー " △ 7億円、 " △ 3億円

(前期111円→当期109円/USD、128円→121円/EUR)

③特別損失 固定資産減損損失126億円を計上。

(自動車関連製品タイ製造子会社97億円、パッケージ事業22億円ほか) 2019年3月期は固定資産減損損失109億円、関係会社事業損失30億円を計上。

④配当 期末25円(中間25円と合わせ年間50円、前期と同額)